

県全体の結果の概要・分析

教科に関する調査の平均正答率(県・全国)

(単位%)

校種・学年	年度		国語A	国語B	算数・数学 A	算数・数学 B	理科
小学校 第6学年	H27	県	68.7	64.2	73.1	43.1	59.2
		国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
	H26 (*理科はH24)	県	72.5	55.5	76.9	57.8	60.4
		国	72.9	55.5	78.1	58.2	60.9
中学校 第3学年	H27	県	74.9	64.7	63.2	40.4	51.6
		国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
	H26 (*理科はH24)	県	79.4	51.5	66.2	59.3	48.8
		国	79.4	51.0	67.4	59.8	51.0

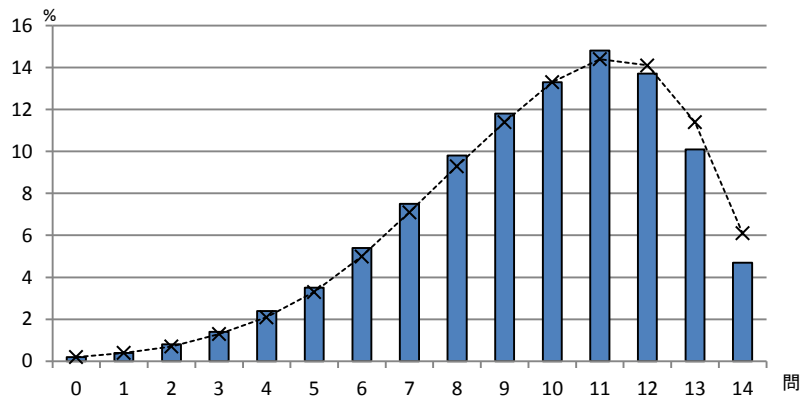
- * A問題：主として「知識」に関する問題 * B問題：主として「活用」に関する問題
* 理科の前の数値は平成24年度の数値で、抽出調査のため平均正答率は推計値である。
(県は誤差±1%程度、全国は誤差±0.2%程度)

埼玉県の前回は、全国平均と比較して-2.1ポイント~-0.9ポイントの範囲である。

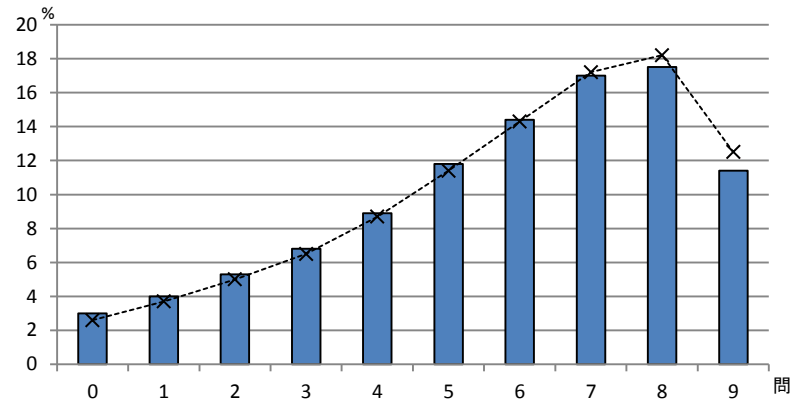
小学校 正答数分布

※棒グラフが埼玉県、折れ線グラフが国の分布 横軸:正答数 縦軸:児童の割合

小学校 国語A

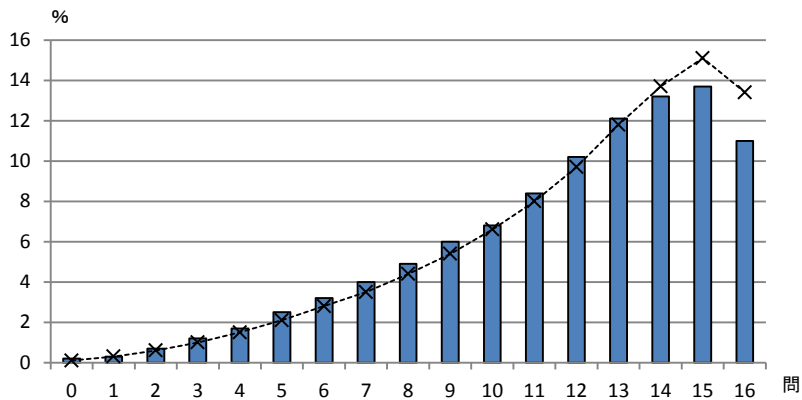


小学校 国語B

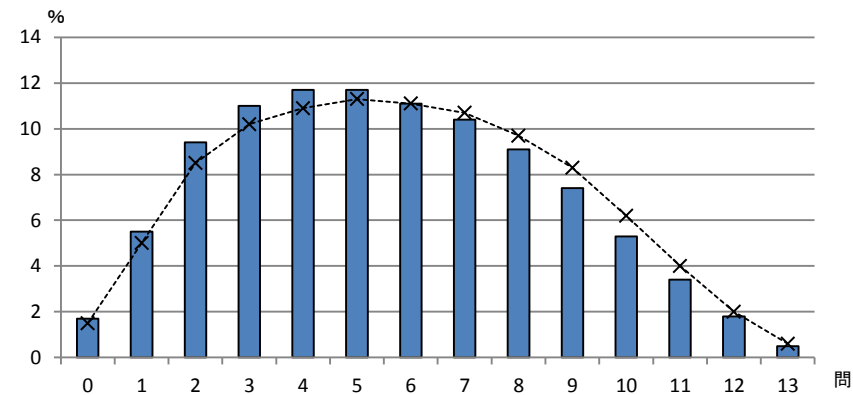


国語A、国語Bともに、全国と比較して、正答数の多い児童の割合が低い。

小学校 算数A



小学校 算数B

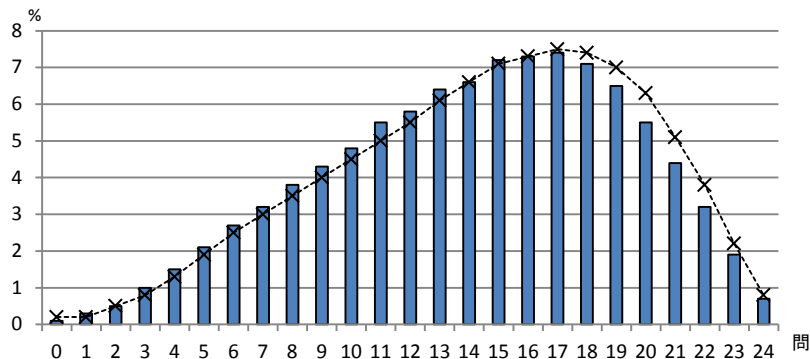


算数Aは、全国と比較して、正答数の多い児童の割合が低い。算数Bは、全国と比較して、正答数の少ない児童の割合が高い。

小学校 正答数分布

※棒グラフが埼玉県、折れ線グラフが国の分布 横軸: 正答数 縦軸: 児童の割合

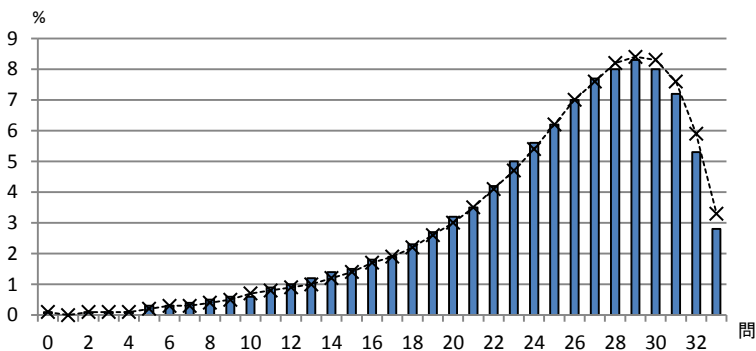
小学校 理科



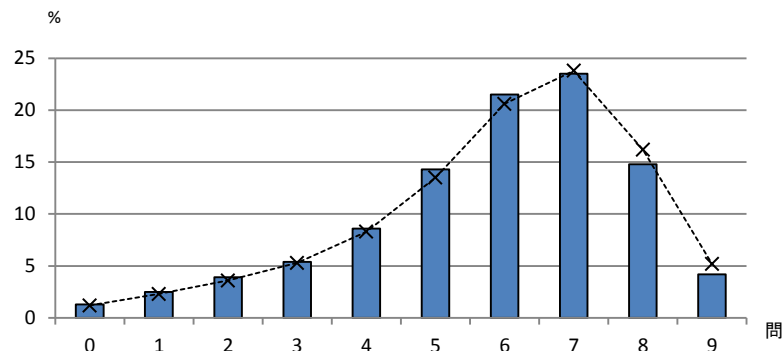
全国と比較して、正答数の多い児童の割合が低く、正答数の少ない児童の割合が高い。

中学校 正答数分布

中学校 国語A



中学校 国語B

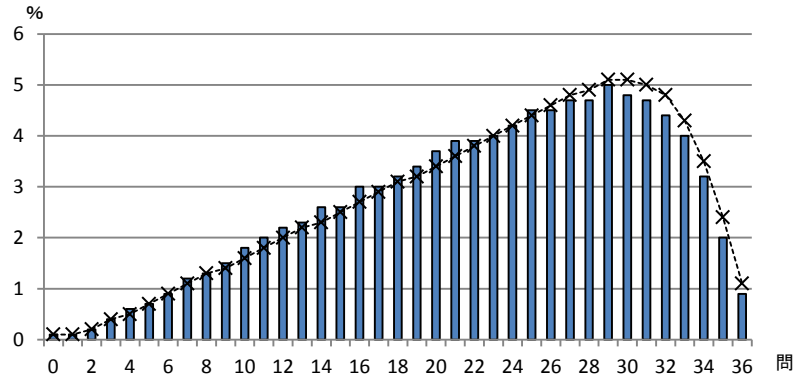


国語Aは、全国と比較して、正答数の多い生徒の割合がやや低いものの、ほぼ同程度である。国語Bは、全国と比較して、正答数の多い生徒の割合が低い。

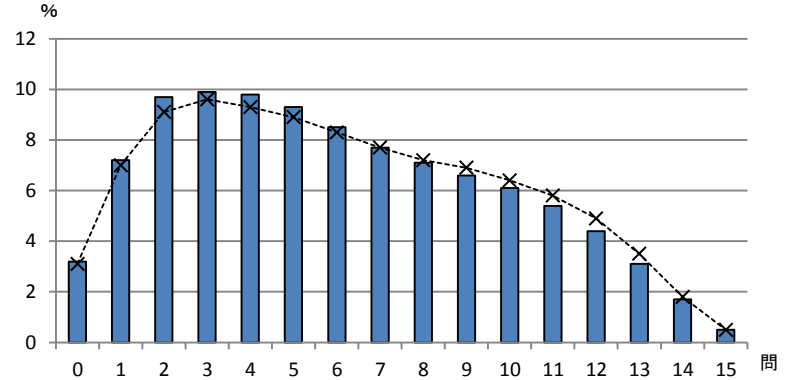
中学校 正答数分布

※棒グラフが埼玉県、折れ線グラフが国の分布 横軸:正答数 縦軸:児童の割合

中学校 数学A

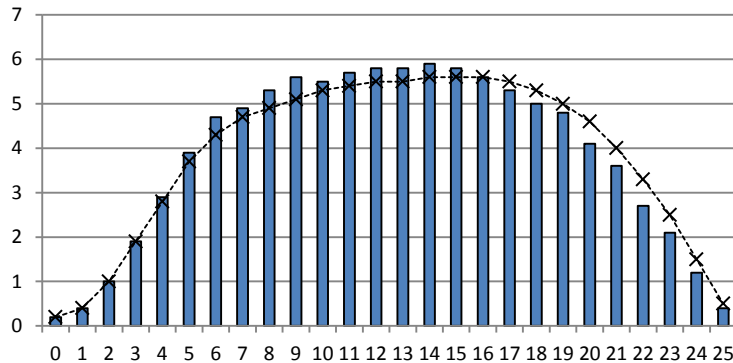


中学校 数学B



数学Aは、全国と比較して、正答数の多い生徒の割合が低い。数学Bは、全国と比較して、正答数の少ない生徒の割合が高い。

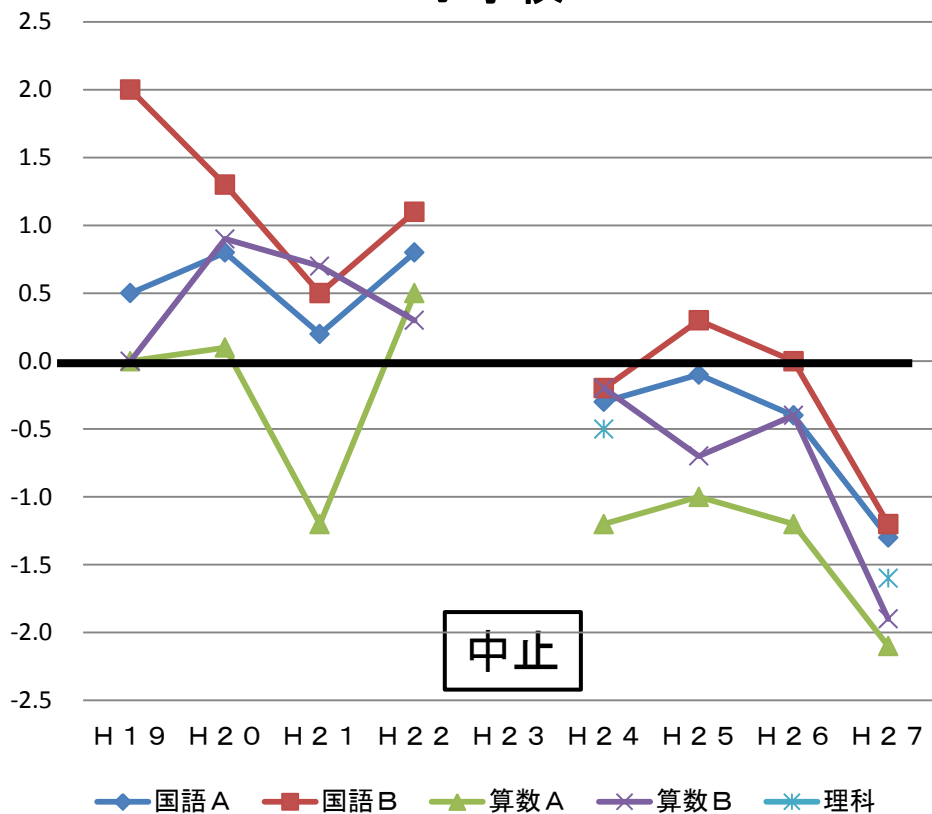
中学校 理科



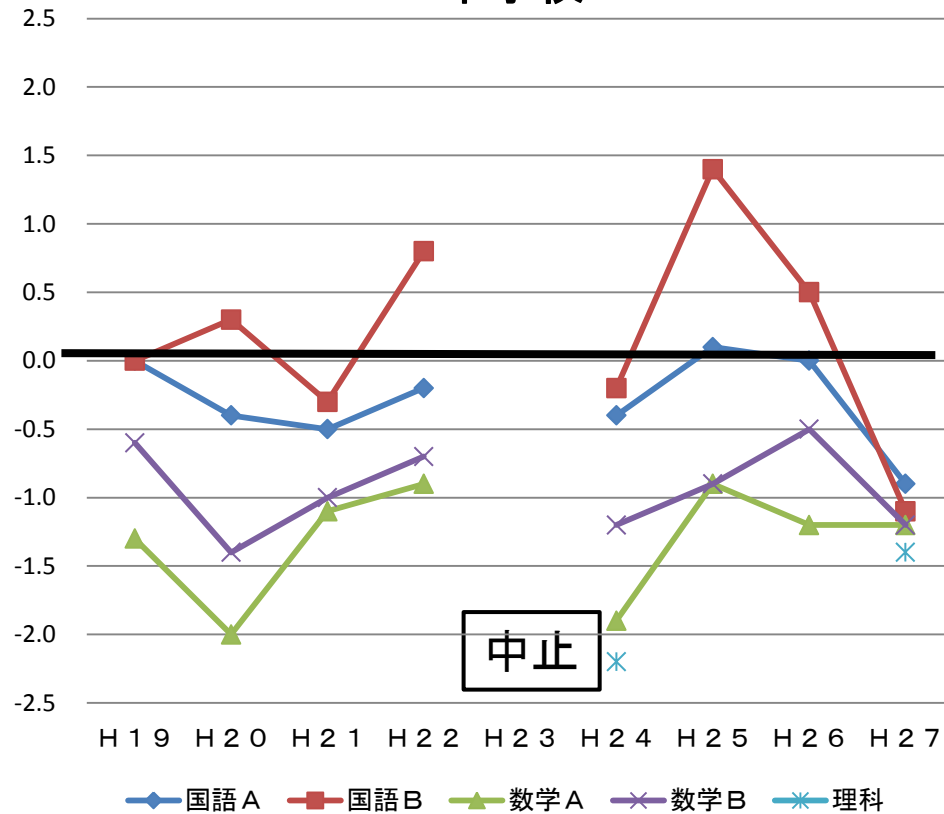
全国と比較して、正答数の多い生徒の割合が低い。

教科に関する調査の全国平均と県平均の差の推移

小学校



中学校



- ・小学校は、平成24年度より、ほとんどの調査科目で全国平均を下回る状況で推移している。
- ・中学校は、ほとんどの調査科目で全国平均を下回る状況で推移している。

調査結果から見られる傾向

①教科に関する調査

問題の難易度による県と全国の正答率の違い

小 学 校							中 学 校					単位%
		国語A	国語B	算数A	算数B	理 科	国語A	国語B	数学A	数学B	理 科	
正答率75%以上	県	89.2	79.5	83.0	95.0	77.5	86.4	85.0	80.3	77.7	77.6	
	全 国	89.7	80.0	84.1	95.2	79.6	86.9	85.3	81.0	78.8	78.0	
	差	-0.5	-0.5	-1.1	-0.2	-2.1	-0.5	-0.3	-0.7	-1.1	-0.4	
正答率75%未満	県	57.3	56.5	63.3	38.7	54.3	61.1	48.5	52.3	37.8	48.1	
	全 国	59.1	58.1	66.3	40.8	55.9	62.6	50.3	53.8	39.0	49.6	
	差	-1.8	-1.6	-3.0	-2.1	-1.6	-1.5	-1.7	-1.5	-1.2	-1.5	

小学校理科を除き、全国レベルで正答率75%以上の問題では県と全国の正答率の差が小さいが、正答率75%未満の問題では県と全国の正答率の差が大きくなる傾向がある。

国語「記述問題」の解答例(中学校)

問題概要		正答	誤答	無解答
文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	県	29.0	61.1	10.0
	全 国	31.1	57.7	11.2
	差	-2.1	3.4	-1.2

算数・数学、理科における記述問題の無解答率

小学校	算数A	算数B	理科
県	 	18.4	3.9
全 国	 	16.5	3.2
差	 	1.9	0.7
中学校	数学A	数学B	理科
県	 	25.2	24.2
全 国	 	23.2	21.9
差	 	2.0	2.3

記述問題については、国語では解答を記述しているものの正答となる条件を満たしていないものが多く、算数・数学、中学校理科では無解答の割合が高い傾向がある。

調査結果から見られる傾向

②質問紙調査

○ 児童・生徒質問紙調査(学習意欲、生活習慣等に関する内容)

小 学 校

児童質問紙において、全国と比べ課題が見られる項目

単位%

質問事項		国語A	算数A
調査問題の解答時間は十分でしたか	県	79.6	80.9
	全 国	83.3	84.6
※「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した割合	差	-3.7	-3.7

小学校においては、調査の解答時間が「余った」「ちょうどよかった」と回答している割合が全国を下回っている。

中 学 校

生徒質問紙において、全国と比べ課題が見られる項目

単位%

質問事項		月～金曜日	休日
学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	県	6.5	12.7
	全 国	5.3	10.6
※「全くしない」と回答した割合	差	1.2	2.1

中学校においては、授業以外で勉強を「全くしない」と回答している割合が全国を上回っている。